

平成27年度上半期指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

所管課	教育委員会 中央青少年会館		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	36,201,600円(4青少年会館一括)		
施設の設置目的	青少年の健全な育成を図り、市民の教養の向上に資する。		
施設名	(1)岐阜市北青少年会館	所在地	岐阜市福光東3丁目19-18
施設概要	研修室1、研修室2、講義室、体育室、談話室、屋外コート(テニス)		
施設名	(2)岐阜市青山青少年会館	所在地	岐阜市小西郷1丁目56-2
施設概要	会議室1、和室1、和室2、体育室、屋外コート(テニス)		
施設名	(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム	所在地	岐阜市西荘2丁目11-23
施設概要	研修室1、料理実習室、体育室 *西部福祉会館と複合施設		
施設名	(4)岐阜市東青少年会館	所在地	岐阜市前一色1丁目2-1
施設概要	研修室1、研修室2、談話室 *長森コミュニティセンターと複合施設		

●利用状況

(1)岐阜市北青少年会館		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数(単位:人)		12,936	12,382	11,818	9,420	11,087
各室稼働状況(%)	研修室1	28.4	42.3	40.8	63.8	57.0
	研修室2	16.1	24.0	14.5	32.7	28.9
	講義室	45.0	42.5	46.7	50.4	49.5
	体育室	77.2	74.1	73.7	38.8	75.8
	屋外コート	48.1	43.5	44.3	17.7	35.5
(2)岐阜市青山青少年会館		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数(単位:人)		7,689	6,035	8,203	6,352	7,850
各室稼働状況(%)	会議室1	7.0	21.3	18.5	23.9	21.5
	和室1	10.7	10.6	9.1	8.1	9.8
	和室2	11.0	10.2	10.8	10.9	10.7
	体育室	57.4	57.6	65.5	65.2	64.6
	屋外コート	3.9	5.2	7.8	5.6	8.1
(3)岐阜市西部福祉会館青少年ルーム		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数(単位:人)		7,763	5,293	6,063	5,464	6,671
各室稼働状況(%)	研修室1	59.7	49.6	50.8	47.7	51.1
	料理実習室	31.2	16.0	19.2	17.1	16.9
	体育室	70.4	56.7	58.9	51.6	54.8
(4)岐阜市東青少年会館		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数(単位:人)		11,965	12,057	11,225	11,765	11,435
各室稼働状況(%)	研修室1	37.4	35.5	42.0	41.7	43.2
	研修室2	47.0	41.9	50.9	47.6	48.6
	談話室	52.1	53.3	51.0	51.1	47.5
		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数合計(単位:人)		40,353	35,767	37,309	33,001	37,043

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市青少年会館条例施行規則を遵守している。 ②勤務ローテーション表を使用するなどして、計画的に人員を配置している。また、各館に教員OBや資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を活かせるよう配慮している。 ・嘱託職員 4名 ・臨時職員 12名（全16名のうち教員資格保有者 12名 ） ③広報ぎふ、館内掲示、チラシ、ホームページ等で広く提供している。 ④会館利用者に対してアンケートを実施し、要望や苦情を的確に把握し、速やかに対応している。また、毎月館内会議を開き、接客態度の向上に努めている。
指定事業・自主事業	指定事業 ①青少年教育活動の推進 ②少年講座等の企画、開催、支援 ③相談業務 ④空き部屋の利用促進 ※自主事業	指定事業 ①活動拠点支援事業 ・上半期利用状況： 利用者数 40,353人 （前年同期 37,309人） 利用団体数 2,538団体 （前年同期 2,509団体） ②講座事業 ・夏期少年講座： 45講座開催 参加者 977人 （定員 836人 応募者 1,453人） ・定期少年講座： 6講座開催 延べ参加者 282人 （定員 86人 応募者 109人） ③相談事業 主に青少年とその保護者を対象とした教育相談 ・上半期相談件数：67件 ④学習拠点支援事業 小中高生に空き部屋を学習ルームとして提供 ・上半期利用者数：2,386人 ※自主事業 ・親子わくわく講座： 15講座開催 参加者 343人 （定員 158家族316人 応募者 345家族710人） ※主催事業総計：66講座開催 参加者 1,602人
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③ねずみ、害虫等の防除等 その他、施設・設備等の管理については、仕様書・事業計画書のとおり業務を遂行している。	①⇒日常清掃：臨時職員による清掃を期間中、日常的に実施。 定期清掃：再委託業者によるワックスがけ、ガラス清掃実施。 ②⇒職員による日常点検：開館日に職員が出勤時と退勤時に日常安全点検を実施。 機 械 警 備 ：再委託業者による夜間と休館日終日の機械警備を実施。 ③⇒敷地内の樹木剪定を職員で行う。 害虫等を発見した場合はその都度薬品を使用しない捕殺を実施。

<p>施設修繕</p>	<p>下記の観点からの修繕実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○迅速な修繕の実施(利用者からの指摘) <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者とのコミュニケーションを重視し、窓口での声掛けや利用後の要望などの聞き取りを行っている。 ・利用者アンケートに施設への要望等の欄を設け、利用者からの声を収集。 修繕実績 (青山青少年会館 給排水管漏水箇所一部取替修繕69,120円、同別箇所取替修繕228,960円、その他全4件実施) ○職員による修繕・整備事項 <ul style="list-style-type: none"> ・職員によるワックスがけや、施設内樹木・植栽の剪定。 ・体育室卓球用衝立ボード作成設置。ほか
<p>危機管理・法令遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の保護体制について、窓口での表示やホームページでの公開を実施。 ・個人情報保護担当者を配置。 ・「個人情報保護研修会」を実施(4月21日)。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・職員による定期安全点検の実施。 ・全職員が対応できるよう、普通救命講習会を実施(6月1日)。 ・熱中症への対策、対応の知識習得のため、熱中症対策研修会を実施(6月23日)。 ・防犯に対する意識を高めるため、「防犯研修会」を実施(6月16日)。 ・医薬品(応急処置用、熱中症対応用保冷剤等)、防災用品(緊急放送ラジオ、職員用ヘルメット・寝袋)の常備。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市青少年会館条例及び施行規則に則り、「青少年会館業務マニュアル」を作成し、利用上の諸問題やトラブルへの対応について対策を共通理解し、職員全員が同様の対応ができるよう努めている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>①施設利用者アンケート ・全ての施設利用団体に手渡しでアンケートを実施。</p> <p>②「ご意見箱」の設置と「あと一声運動」による聞き取り調査を継続。</p> <p>③主催事業参加者アンケート ・講座参加者に手渡しでアンケートを実施。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>①施設利用者アンケート 「利用回数について」 2,039件 初めて:38件 1.9% 複数回:2,001件 98.1% 「全体の満足度について」 2,039件 大変満足:63.9% 満足:34.1% 普通:2.0% 不満:0% 大変不満:0% 「施設設備について」 2,039件 大変満足:63.0% 満足:34.3% 普通:2.7% 不満:0% 大変不満:0% 「職員の対応について」 2,039件 大変満足:67.3% 満足:31.2% 普通:1.5% 不満:0% 大変不満:0%</p> <p>【主な意見】 「きれいな教室、整理整頓されています。」「いつもありがとうございます。」「ダンスをしていると結構暑くなります。大型扇風機を出していただいで感謝します。」「テニスコート北側の水たまりの水を取り除いていただき、ありがとうございました。」</p> <p>②主催事業参加者アンケート (①とても楽しかった・②楽しかった・③普通・④楽しなかった・⑤全然楽しなかった)</p> <p>◆夏期少年講座 「講座は楽しかったか」初めて参加：397件 ①：85% ②：12% ③：3% ④：1% ⑤：0% 複数回参加：504件 ①：83% ②：13% ③：4% ④：1% ⑤：0%</p> <p>◆定期少年講座 「講座は楽しかったか」初めて参加：29件 ①：79% ②：14% ③：7% ④：0% ⑤：0% 複数回参加：51件 ①：78% ②：18% ③：4% ④：0% ⑤：0%</p> <p>◆親子わくわく講座 「講座は楽しかったか」初めて参加：81件 ①：79% ②：20% ③：1% ④：0% ⑤：0% 複数回参加：98件 ①：82% ②：17% ③：1% ④：0% ⑤：0%</p> <p>【主な意見】 「講師の先生が優しくとてもわかりやすく教えてくれたのでよかった」(英語で遊ぼう・紙工作・将棋入門・手品等) 「簡単な道具で手軽にできた。いろんな種類の飾りがきれいこできた。」(楽しいクッキング・小物入れ 等) 「最初は難しかったが、最後にはうまくできてよかった」(カラフル粘土・ビーズと天然石・ミニ行灯・親子絵手紙等) 「他の子ども協力し合っていてできて楽しかった」(英語でクッキング・紙工作・夏のランチ・和菓子作り 等)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対して、軽微な要望、修理、改修等については職員で速やかに対応するほか、業者対応を要するものについては見積もりを依頼し、後日対応している。</p> <p>【主な意見と対応】 ・「まな板の1つが黒っぽくなっています。カビだと思えます。」 ⇒即日、他のまな板も点検しなおし、古くなっていたため8枚全て新品を購入。</p> <p>・「体育室のテーブルの汚れが気になりました。」 ⇒体育室の利用団体に呼びかけを徹底。また、職員の点検を強化し、毎朝A勤務者(朝から勤務)が確認してきれいにするのを職員間で確認し合った。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
I 公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1)『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	条例・施行規則を遵守して、公共施設の設置目的に則って、全ての住民が公平・平等な条件でサービスを受けることができるか。	A	A	A
		(2)平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	年少者から高齢者、障がい者など幅広い層に、要望、改善点についての意見を聞き、これをもとに協議して、円滑で公正な施設運営に努めているか。	S	S	S
		(3)情報公開、広報の方策	利用規程、主催事業案内、活動内容等をパンフレットやホームページ、広報ぎふ等に掲載し、情報提供を図っているか。	S	S	S
		(4)個人情報保護するための方策	個人情報保護規定を制定し、個人情報の保護や情報公開の取り扱いについて、十分配慮しているか。	S	S	S
		(5)その他指定管理者の提案によるもの				
		区分評価				
II 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1)『事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	岐阜市教育委員会との連携を密にし、施策を実現し、その一翼を担うため、岐阜市の人づくり、街づくりに貢献すべく取り組んでいるか。	A	A	A
		(2)既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各種講座の充実・拡大、相談室の開設により青少年の健全育成に寄与しているか。	SS	SS	SS
		(3)利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者・講座受講生に対してアンケート調査を行い、結果を集約し、改善に努めているか。	S	S	S
		(4)利用者に対するサービス向上の方策	講座受講生や利用団体に対しアンケートを実施し、要望や満足度を調査し、事業展開や職員の接遇等に生かしているか。	SS	SS	SS
		(5)利用促進、利用者増の方策	施設紹介や主催事業のPR活動とともに、新規の事業開拓に努め、利用拡大を図っているか。	S	S	S
		(6)サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質の高いサービスを維持するために、利用者の声や意見を把握し、施設運営に取り入れるシステムや相談窓口を設けている。	S	S	S
		(7)施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	青少年会館の設置目的を踏まえつつ効率の良い施設管理を行うために、管理及び運営にバランスのとれた人材を配置しているか。	S	A	A
		(8)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価					S	
III 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1)『事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	設置目的や安全性、利便性を維持しつつ効率的運用を図り、管理経費削減に努めているか。	A	A	A
		(2)指定管理経費の設定額	収支予算書との妥当性はどうか。	S	A	A
		(3)指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービスを低下することなく、コストの削減に努めているか。	SS	S	S
		(4)収支計画の妥当性	削減できる予算、プラスしなければならない予算について、検討、研究しているか。	S	A	A
		(5)管理経費削減の具体的方策	安定性・安全性を損なわない範囲で、具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	S	S	S
		(6)スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当や勤務時間を工夫し、より効率よく業務ができるように配置しているか。	S	S	S
		(7)その他指定管理者の提案によるもの				
区分評価					A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
IV 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1)『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	教育文化施設を管理運営するために、その事業の運営に適した人材の採用と専門性を有するスタッフの育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2)当該公の施設に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	類似施設等の管理実績を参考にしているか。	A	A	A
		(3)経営基盤の安定性	公益事業に精通した団体で、物的能力、人的能力、専門的能力を有しているか。	S	S	S
		(4)組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	各職員の専門知識や経験が職務分担に活かされているか。	S	S	S
		(5)スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	より良いサービス、活動を提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	S	S	S
		(6)スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	各種職員研修会を行い、職員の資質向上を目的とした研修計画書が作成されているか。	S	S	S
		(7)リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	夜間防犯対策・安全点検・館内外の巡回・日常清掃・消防訓練等を実施しているか。また緊急事態における対応が確認されているか。	A	A	A
		(8)リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	①会社更生法や民事再生法、破産法に基づき更生、再生、破産手続きの申立てをしていないか。 ②市税等の滞納はないか。	S	S	S
		(9)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					S
V 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方(理解度、取組姿勢など)	市の方針に基づいた計画で、地域の振興・活性化に貢献する計画となっているか。	A	A	A
		(2)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元の法人や青少年団体、ボランティア組織等との連携に努めるとともに、その育成に取り組んでいるか。	S	S	S
		(3)地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	施設の維持管理等のため、従事者を雇用する場合、地元の住民等の雇用に留意しているか。	S	S	S
		(4)地元での資材等の調達	資材購入にあたっては、地元の業者による調達に留意しているか。	S	S	S
		(5)地元での社会活動等への参加	地元で実施される社会活動等への積極的な参加に努めているか。	S	S	S
		(6)その他指定管理者の提案によるもの				
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

(II-(2))

- ・講座の充実、拡大について、夏期講座(少年・定期・親子)を合わせて66講座開催。
(前年同期実績 54講座) **12講座増加拡大。**
- ・岐阜市型STEM教育(サイエンス:科学・テクノロジー:技術・エンジニアリング:工学・
マスマティクス:数学)を意識した主催講座の企画を行った。
- ・**新規講座も開設**(「素敵なカルトナーージュ」「和太鼓に挑戦」「親子化石教室」……等)。
- ・主催講座アンケートでは、(少年)(定期)(親子)の3つを合わせた平均で、
初めての参加者:**96.3%** 複数回目の参加者:**97.0%の子ども達が**
「とても楽しかった・楽しかった」と回答。
- ・相談事業も開設しており、上半期相談件数は67件。(前年同期実績 85講座)
- ・「子ども会サポートプラン」のプレ実施で、子どもの教育や悩み相談の他に、子ども会役員等
対象に、「**子ども会の活動相談**」も受付開始をPRしたところ、**上半期で25件の相談あり。**
地域の子ども会育成会活動に貢献。

(II-(5))

- ・施設利用については、HPで紹介するほかチラシ配布や情報誌でPRし、利用拡大に努めた。
- ・相談事業や学習拠点支援(空き部屋開放)事業、青少年会館利用についても、同居する施設
の定期刊行物(「**長森コミセンだより:第39号(東青:8月発行)**」)に利用紹介の記事を掲載。
- ・**館の特色をPRしたチラシを作成。**
「青少年ルームの料理室」(料理講座の利用がある市橋コミュニティーセンターに常時設置)
「会館リニューアル! 青山青少年会館だより」(地域に回覧)
- ・上半期利用状況:
利用者数 40,353人 (前年同期 37,309人) ⇒**対前年比: 3,044人 8.2%増**
利用団体数 2,538団体 (前年同期 2,509団体) ⇒**対前年比: 29団体 1.2%増**
- ・主催講座については、周辺学校へ直接持参してチラシの配布を依頼するほか、
地域の情報誌「岐阜市咲楽 7月号」、「広報ぎふ 6月号」の紙面でPR活動を行った。
- ・講座募集チラシの配布されていない地域がないか、館長会で4館各施設の配布先を確認。
市内地域を各施設で割り振り、全小学校区に直接持参して配布依頼を継続している。
- ・**新規講座も開設**(「素敵なカルトナーージュ」「和太鼓に挑戦」「親子化石教室」……等)。
- ・アンケートの分析などから、**魅力ある講座の企画**により、全講座の**定員1,238人に対して、**
2,272人の応募(83.5%オーバー)。
- ・上半期講座状況:講座数 前年度比 54講座から66講座へと増加(12講座 22.2%増)
参加者数 前年度比 1,197人から1,602人へと増加(405人 33.8%増)
- ・下期の講座受講者増加を狙い、**夏期講座終了時に「予告! 冬期少年講座」を配布。**
(今期実施したのは、青少年ルームのみ。)
- ・「子ども会サポートプラン」のプレ実施で、子どもの教育や悩み相談の他に、子ども会役員等
対象に、「子ども会の活動相談」も受付開始をPRしたところ、**上半期で25件の相談があり、**
うち10件の活動が確定し、3件が東青少年会館で実施。
地域の子ども会育成会活動に貢献するとともに、**利用拡大に結び付いた。**

(II-(7))

- ・各施設に職員4名中、教員OBの嘱託職員が1名、同じく教員OBや資格を有する臨時職員
の配置を継続。
- ・4月の異動と採用により、施設職員の75%(16人中12人)が教員資格を保有。
- ・男性、女性、幼児からお年寄りまで、多岐にわたる利用者の対応に備え、**性別や年齢等バラ**
ンスのとれた職員体制を整えるため、新規に女性職員を採用し、北青少年会館に配属。
講座開催時の女性(児)参加者への配慮や女性用トイレの清掃など、**適所での業務分担に**
配慮している。

(III-(2))

- ・平成26年度の指定管理経費は36,201,600円で、総収入36,788,914円に対して98.4%。
- ・指定管理経費の適正な執行に努めた結果、平成26年度決算において、**収支の差額が**
277,208円(執行率99.2%)となった。
- ・平成27年度の予算についても予算管理月報を毎月チェックして予算執行状況を把握し、
前年度と比較することで、利用者サービスの向上と経費の縮減に努め、適正に執行した。

(III-(3))

- ・**自主財源による「自主企画事業 親子わくわく講座」を開催**することで、**指定管理料のコスト**
縮減。
15講座を実施。
(講師謝金:86,000円 消耗品費:131,091円):参加者343人(昨年同期:8講座172人)
- ・職員の勤務シフトを工夫、調整(繰り上げ繰り下げ勤務シフト)することで、職員の人数を増や
すことなく、主催講座時の職員の複数体制を実現。
人件費コストを上げることなく、講座での「ゆとりある見届け」等、サービス向上につなげた。

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>(Ⅲ－(4))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度予算作成にあたり、利用者サービスに影響がないよう、検討・研究を行った。 ・具体的な削減策として、「エコオフィス運動やこまめなスイッチのON・OFFによる光熱水費の削減(前年度比△3.2%)」、「職員による植栽の剪定や自前修繕による修繕費の削減(前年度比△6.1%)」など。 ・反面、利用者サービスに影響が出ないよう、「主催講座に係る材料費(消耗品費)」や「講師謝金(諸謝金)」については充実を図り、上半期の夏期講座(自主企画事業除く)における執行額は、消耗品費415,834円(前年度比17.1%増)、講師謝金415,000円(前年度比15.9%増)となった。 <p>(Ⅴ－(3))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業団職員の78.5%(95人/121人)が岐阜市住民である。 ・青少年会館職員の62.5%(10人/16人)が岐阜市住民である。 ・事業団職員の41.3%(50人/121人)が60歳以上である。 ・青少年会館職員の81.3%(13人/16人)が60歳以上であり、年長者を雇用することでその豊富な経験と知識を業務に生かすとともに、高齢者の就労機会を提供している。 ・地域の教育力を活用した育てるため、地域の人材を講座の講師に招聘している。 ・(H27年度主催事業(夏期講座)での岐阜市在住講師 78.3% 47人/60人) ・(H26年度主催講座(夏期講座)での岐阜市在住講師 72.7% 32人/44人) ・障がい者雇用率3.38%であり、国の定めた障がい者法定雇用率の2.0%を上回っており、障がい者の雇用に配慮している。 ・男性、女性、幼児からお年寄りまで、多岐にわたる利用者の対応に備え、性別や年齢等バランスのとれた職員体制を整えるするため、新規に女性職員を採用。 ・地域に在住する女性の雇用にも貢献している。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○所管課の意見</p> <p>(Ⅱ－(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4館全体としての利用拡大をより重視する観点から、次期の利用状況の推移に期待する。(自己評価S→A評価) ⇒館の特色をPRしたチラシ、「青少年ルームの料理室」(料理講座の利用がある市橋コミュニティセンターに常時設置)、「会館リニューアル!青山青少年会館だより」(地域に回覧)を作成するなど、会館利用についての広報を積極的に進めた。 上半期利用状況: 利用者数 40,353人 (前年同期 37,309人) ⇒ 対前年比: 3,044人 8.2% 増 利用団体数 2,538団体 (前年同期 2,509団体) ⇒ 対前年比: 29団体 1.2% 増 <p>(Ⅲ－(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコオフィス運動を推進し経費の削減に取り組まれている努力を評価するものの、当期については評価は据え置くこととする。(自己評価SS→S評価) ⇒継続して経費削減シートにより月々の光熱水使用量・料金をチェックし、経費削減の意識啓発に留意している。 また同様に、「エコオフィス運動」も継続実施。電気消費量を抑えるため、利用者のいない時間はエアコンを切るなど、エアコンの使用を抑えた。 ・各施設ごとに、「青少年の利用に特化した、時間帯別の稼働状況」を調査・分析され、青少年の利用促進につながる方策を継続して進めていただきたい。 ⇒今年度より、「曜日別」「時間帯別」にアンケートを分析開始。 青少年が利用できる時間帯にどのくらいの利用があるかを調査し、実態を把握した上で青少年の利用に結びつく方策を検討予定。 <p>○評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年人口が減っていくなか、利用者を確保する。利用者の満足度を高める。 この2点についてアンケートを頻繁に取り、動向を把握し、対策を検討していただきたい。 ⇒これまでも行ってきた「利用者アンケート」、「講座受講者アンケート」、「ご意見箱」、「あと一声!運動」を継続して実施。全体の満足度のほか、施設設備について、あるいは職員対応について不備・不足があれば、即時対応を行った。 また、利用者の確保も念頭に「子ども会サポートプラン(プレ実施中)」による、子ども会役員への相談も行い、会館利用にも結びつけた。
<p>今後の取組み</p>	<p>(Ⅱ－(2)(4)(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の単位子ども会に、具体的な利用の仕方(活動プログラム)を紹介し、積極的に利用を働きかける、「子ども会サポートプラン」の本格実施。 <p>(Ⅲ－(4))(Ⅱ－(5))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規講座の開催と、自主財源での事業の拡大による、主催講座の充実。 <p>(Ⅳ－(7))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応マニュアルの見直し。

●所管課の意見

【前期の評価委員会の意見について】

・「青少年人口が減っていくなか、利用者を確保する。利用者の満足度を高める。」とのご提言のついて、利用者アンケートや声掛けを継続するとともに、**各館の特色を生かしたチラシを独自に作成・配布**したり、高い満足度を得るための**新規講座を独自に企画・開設**するとともに、子ども会の育成者に対し研修や講師の取次を行う「**子ども会サポートプラン**」の実施を始めるなど、利用者の増加に繋がり、以下の該当する項目の評価となった。

(I-(1))について

・事業計画書の内容どおり業務が履行されているので、**自己評価どおり**とする。

(II-(2))について

今期は夏期講座、定期講座、親子わくわく講座を合わせて**66講座**を開催し、**前年同期と比較して講座数・参加者数ともに増加(12講座・のべ405人の増)**し、「**子どもたちの高い満足度を得るための新規講座や岐阜市型STEM教育を意識した講座**」を**独自に企画・開設**し、リピーターになってくれるような効果的で魅力的な企画を実施し、着実に実績を積み重ねていることを高く評価する。

(SS評価:4期継続)

(II-(4))について

施設利用者アンケート「全体の満足度について」の回答が**大変満足・満足合わせて98.0%**。職員の接遇等についても、**大変満足・満足合わせて98.5%**と、各館それぞれが来館者へのサービス向上に日ごろから心がけておられる結果であり、高く評価する。(SS評価:3期継続)

(II-(5))について

ホームページの紹介や情報誌でのPRや地域の回覧板等を通じての施設紹介の他、**各館の特色を生かしたチラシを独自に作成、配布し、新規利用団体の掘り起こしに努めた結果**、前年同期と比較して**利用者数は3,044人(約8%)の増加**となり、4館全体として利用拡大を達成したことを評価する。

(A→S評価:新規)

(II-(7))について

今期から北青少年会館に女性職員を採用・配属したことは、バランスのとれた人材配置に取り組まれた点で評価するが、事業計画書の効果性においては、教員OBや教員資格を持つ職員の配置と管理運営に支障のない計画的な配置を求めているものであり、**取り組みの成果**については**事業計画書の範疇**であり、「**A**」評価のままとする。(A評価:7期継続)

IIのその他の評価項目は事業計画書の内容どおり業務が履行されているので、**自己評価どおり**とする。

(III-(2))について

事業計画書の内容の範疇で業務が履行されていると考え、「**A**」評価のままとする。(A評価:7期継続)

(III-(3))について

指定管理者の自主性による事業展開として、親子わくわく講座を企画・開催し、サービス向上や利用拡大に努めている点は高く評価する。

但し、「**コストの縮減**」の点に関しては、**指定管理者の裁量に委ねられる自主事業に要するコストについて、指定管理経費**

の縮減に結びつけて評価することは適当でないと考え、**S評価のまま**とした。(S評価:3期継続)

(III-(4))について

指定管理者の自己評価は、(3)と同じであり、その努力について(3)で評価してS評価としており、(4)は(2)と同じく事業計画書の内容の範疇で業務が履行されていると考え、「**A**」評価のままとした。

(A評価:6期継続)

IIIのその他の評価項目は事業計画書の内容どおり業務が履行されているので、**自己評価どおり**とする。

IV-(1)~(8)について

IV-(1)~(8)について

・事業計画書の内容どおり業務が履行されているので、**自己評価どおり**とする。

(V-(3))について

地域の人材を積極的に講座講師として登用している実績は、**地域の活性化を支援**する各会館の配慮や工夫の結果として評価する。(A→S評価:新規)

Vのその他の評価項目は、事業計画書の内容どおり業務が履行されているので、**自己評価どおり**とする。

○利用者の増減について

- ・上半期の青少年会館4館全体の利用人数は、**前年同期と比較して3,044人の大幅増**となった。とりわけ大きく実績を伸ばした会館は**青少年ルーム**であり、**1館**で全体の過半数以上にあたる1,700人の利用者増を達成した。主な要因としては、**料理実習室及び体育室の稼働率が前年同期と比較して10%以上アップ**していることが挙げられる。各会館とも施設・設備面での整備が遅れがちな現状に安住せず、**立地や設備の利点を強調するきめ細かな広報活動や丁寧な対応に努めた**ことが、今期の実績につながったものと考えている。

○今後の方針について

- ・特別な要因なく稼働状況が例年一桁～10%台で推移している施設について、青少年の継続的な利用や相談につながるような対策を研究、提案されたい。なお、青少年会館のイメージアップの一環として、ウェブデザインの刷新やホームページの有効活用等を進めていただくよう希望する。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・各評価項目の具体的な業務要求水準に従い、業務が履行されている。